

西要寺だより

第89号 平成30年9月20日



●孟蘭盆会法要を勤めさせていただきました。

例年のごとく、8月13日（月）～15日（水）まで、孟蘭盆会法要を勤めさせていただきました。今年は例年に比べて気温が高かったにもかかわらず、多くの門徒の皆さんがお参りに来て下さいました。なかには子どもさんや孫さんも一緒に来られたり、赤ちゃんをだっこして来られる方とか、若い人にもお参りに来ていただけて、嬉しく思いました。



当日の法要は午前11時から始まり、まず『仏説阿弥陀経』をお勤めし、その後、副住職と住職の話をお願いいただきました。今年は、‘葬儀を考える’というテーマで話をしました。



近年、家族葬が増えてきました。副住職の考えとしましては、決して家族葬は絶対ダメですと、家族葬自体を否定しているのではありません。様々な事情で家族葬を執り行われる方がおられることでしょう。しかしながら、今現在、世間では家族葬が主流なのでという流動型、一般葬では弔問客が多いのでそれを避けるという面倒くさがり型、故人のつながりを遮断するという閉鎖型などといった理由から、一般葬を避けて家族葬を行うということは、いかがなものかと思えます。



本来どのような葬儀がいいのかということ、もう少しじっくりと考えていただきたく存じます。実際に家族葬を行われた門徒さんのなかには、高齢で足腰に不安のある喪主さんの体調をまわりの方が考えられてとか、喪主さん宅で家の建て替えを行っていろいろと気を遣わないといけなことが多くという理由から、家族葬をされた方もおられました。お家の事情でやむ

を得ずというのはわかりますが、上記のような流動型や面倒くさがり型や閉鎖型などといったように、自分の勝手な理由などで家族葬を行うのはどうか、と思います。葬儀というのは、故人の総会であるとも言われます。また、葬儀は故人の締めくくり会とも言われます。葬儀の参列に来た故人の縁のあった人から、故人の新たな一面を聞かされたので、いろいろな人に来てもらってよかったとか、また、少し遠縁の親戚の人が参列に来られたというような思わぬ縁を感じることが出来てよかったということも聞きます。家族葬ではない一般葬のメリットも考えるべきでしょう。葬儀はそのようにすべきかということ、親子・家族・夫婦などで、事前に話し合っただきたく存じます。ご相談に乗りますよ。気軽にお話してください。

●西要寺のホームページを作りました。

インターネットが出来ないご年配の方に見ていただくことは難しいと思いますが… 西要寺のホームページを作りました。是非、若い方にも見ていただきたく存じます。

おじいちゃん、おばあちゃんは西要寺に縁がある、と言われているものの、子どもさんやお孫さんが西要寺というお寺はどんなお寺なんかな、って気になったときに、ホームページを見ていただき確認することが出来ます。

将来的にはホームページを見ていただいたら、仏事のいろいろな情報などを入手できるようにしていきたいです。今まで西要寺のインスタグラムを見られなかったという人も、ホームページに入っていただくとインスタグラムを見られるようにしましたので、それもあわせて宜しくお願いします。

西要寺のホームページは、「西要寺」「尼崎」で検索していただくと出てくると思います。西要寺というお寺は、和歌山にもありますので、「尼崎」と入れていただいた方が確実です。

少し前までは検索しても、西要寺のホームページを出すことが難しかったのですが、少しずつ改善していっています。以前うまくできなかったという方は、もう一度試していただきたく存じます。今でも相変わらず検索しても出て来ないんよ、と言われる門徒さんがおられましたら、副住職に相談して下さい。非常に興味を持っていただいていることは有り難いことです。また、子どもさんや孫さんにも西要寺のホームページのことを、是非、お知らせく



ださい。

西要寺のホームページのトップページ（最初のページ）は西要寺の山門の写真です（前頁に掲載）。もちろん、スマホ（携帯）でも見ていただくことは出来ますよ。

●お願いがあります。

本年6月18日朝に起きました大阪府北部地震では、皆さまご承知の通り、尼崎におきましても震度5弱の揺れがありました。ご門徒の皆さまの家屋におきましても、被害を受けられたこととお察しいたします。西要寺本堂におきまして、南の硝子戸と壁の一部が損傷しました。硝子戸の修復は、防犯上のこともあり、完了しております。また、壁につきましても、その後も日々、少しずつですが、土壁の一部であろう粉末が廊下に落ちていることもあり、そのまま放っておくことは出来ないというので、お盆明けから取りかかり、8月末日に壁の修復は完了しました。

また、かねてより総代さんから畳のやり替えの話をいただいております。本堂が完成しましてから23年が経過しました。最近では本堂において法要をお勤めする場合は、参詣される門徒の皆さまに楽に座っていただくために、椅子を用意しています。ということもあり、畳の状態が悪くなってきました。畳のやり替え（裏返し）が必要となってきました。西要寺の総代さんのご了解のもと、壁の修復と畳のやり替え等の修復代につきまして、門信徒の皆さまにもご依頼することとなりました。誠に申し訳ございませんが1口5,000円で、出来ることなら2口以上でご協力いただくようお願い申し上げます。なお、ご懇志につきましては、下記の口座まで振り込んでいただく、西要寺まで持て来ていただく、お参りの際に渡して下さる、いずれでも構いませんので、宜しく願いいたします。もうすでにご懇志をいただいている門徒さんにつきましては、深く御礼申し上げます。ありがとうございました。

口座番号

誠にありがとうございました。

最後に!!

久しぶりの西要寺だよりです。今年はいろいろなことがありますね。地震とか台風とか猛暑の夏であったり……。その中でも最近は、怖かったのは台風21号ですね。台風21号による被害はありましたか？ 屋根の瓦がずれたとか、ベランダの屋根が飛んでしまったとか、マンションのベランダの隣との境界にある仕切りが抜けてしまったとか、また停電したとか……。門徒さん宅それぞれで被害を受けたということを知っています。報道の通り、大きな台風でした。怖かったですよね。実は、西要寺でも停電がありました。金曜日の朝に電気は復旧しました。65時間停電してました。電気があつて当たり前前の生活をしていましたが、電気の有り難さを実感しましたね。これだけ電気に依存した生活をしていたのですね。年配の門徒さんもこれだけ長い間の停電は、人生で始めてでしたと言われていました。私も同感です。(副)

◎今後の西要寺行事予定◎

【定例法座】

9月23日(日) 午後2時より 4時頃(予定)まで

講師：赤井智顕師(本願寺派布教使 西宮市 善教寺副住職)

場所：西要寺会館(椅子席)

●9月は都合により、23日にお勤めします。

●ヨガ教室は先生の都合で、お休みいたします。

【報恩講法要】

10月22日(月) 23日(火)

両日とも午後2時より(4時頃終了予定)

講師：林 智康 師(龍谷大学名誉教授 本願寺派勧学)

場所：西要寺本堂(椅子席)

【ご法話と雅楽の演奏会(定例法座)】

11月22日(木) 午後2時より

青年僧侶の会の方に来て頂いて、ご法話と雅楽の演奏をしていただきます。昨年も来て頂きました。好評でしたので、今年も来て頂くことにしました。皆さまのご参加をお待ちしています。